

長谷部誠選手のサイン入りボール贈呈

日本ユニセフ協会は、宮城県中学校総合体育大会を支援しましたが、サッカーの部でベスト8に入った下記の中学校サッカー部に長谷部選手のサインボールが寄贈されました。[東北学院中学校、富谷町立東向陽台中学校、気仙沼市立大谷中学校、富谷町立成田中学校、栗原市立栗駒中学校、色麻町立色麻中学校、名取市立第二中学校、大崎市立古川北中学校] 8月11日、色中（しきちゅう）を訪問し長谷部選手へのお礼のメッセージをいただきました。

色紙やビデオレターを長谷部選手に届ける予定です。



色麻中学校サッカー部員

女川町の全小中学校で完全給食再開へ

給食室修繕支援完了オープニングセレモニーが女川第一小学校前給食室前で開催されました。

日本ユニセフ協会は女川町の要請を受け、地震で使えなくなった給食施設の修復を支援。新学期初日となる8月22日より給食施設が稼働再開し、同町の小中学生に完全給食が提供できるようになりました。成長期の子どもたちにとって、バランスのとれた食事が

必要です。あたたかい食事は体が喜びますね。安住町長さんは、子どもたちがより一層元気になれることを望んでいらっしゃいました。



県スポ少ジャンボ大会開会式でのユニセフ支援



河北新報旗争奪第34回宮城県スポーツ少年団軟式野球交流大会の開会式が、8月16日Kスタ宮城で開催されました。3ヶ月遅れの少年野球大会、今年は震災を乗り越えての大会です。289チームすべてがそれぞれに、野球ができる楽しさを存分に味わい、特別な思い出になるでしょう。日本ユニセフ協会は、子どもたちの熱中症対策に、アイスパックをユニセフバッグに詰めて各チームにお渡ししたり、会場各所に給水所を設けて水の提供を行いました。炎天下での開会式でしたが、全チームの入場行進と開会式が無事終了しました。早朝からのボランティア活動に、さわやかな思いと野球少年を精一杯応援したい思いでいっぱいになりました。



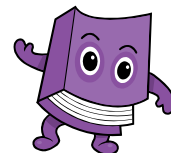
バッグに詰めたアイスパック



給水所でのボランティア

生協が主催する「おゆずり会」で・・・

8月9日、女川町立病院前で「おゆずり会&ふれあい喫茶」が開催され、全国のユニセフ支援者から提供された絵本や折り紙、かるた、パズルなども役立てていただきました。「あ、これぼくの好きだった絵本だ」とうれしそうに手にする子もいました。親しんできた絵本も流されたそうで、再会できたような想いだったのでしょ。プレゼントできてよかった！



8月7日（日）岩手県ユニセフ協会の10周年記念公演に参加してきました。岩手・宮城で支援活動しているスタッフも参加しました。10年間の歩みをビデオで紹介。とてもわかりやすい構成でした。高校生、中学生、小学生のコーラスに続き、第2部は「地球のステージ」公演。このたびの震災津波篇と復興篇が新たに加わり、「99%の絶望でも1%の希望あれば、人は前に進める」ことを実感しました。宮城でも今年6月に「地球のステージ」を予定していましたが、会場が使えずキャンセルになりました。「ほんとうのしあわせって?」「地球全体の平和って?」を考え、そして一歩前進する勇気を持てる公演です。

